

## 2022年度事業報告と収支決算を承認

### 第3回（通算第172回）通常議員総会

7月26日、当商工会議所は、第3回（通算第172回）通常議員総会を開催した。正副会頭をはじめ役員・議員の出席のもと、2022年度の事業報告並びに収支決算の議案が審議され、いずれも原案通り可決承認された。

同年度は、新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安、中国・上海のロックダウンなどの影響を受け、供給制約や原材料・エネルギー価格の高騰に見舞われた。こうした状況の中、

当商工会議所は長期にわたりダメージを受ける地元企業の事業継続・再生支援、デジタル化やDX、サステナビリティ経営の実践、交通・都市インフラの整備に向けた取り組みに注力した。

同年11月には、任期満了に伴う役員・議員改選を行い、川崎会頭による新体制がスタート。2025年大阪・関西万博に向けて万博特別委員会を新設するなど、機運醸成への取り組みを進めたことなどを報告した。



また、常議員の補充選任については、(株)デンソーテン代表取締役社長の米本宜司氏と、(株)三井住友銀行頭取CEOの福留朗裕氏を選任した。

#### 議案

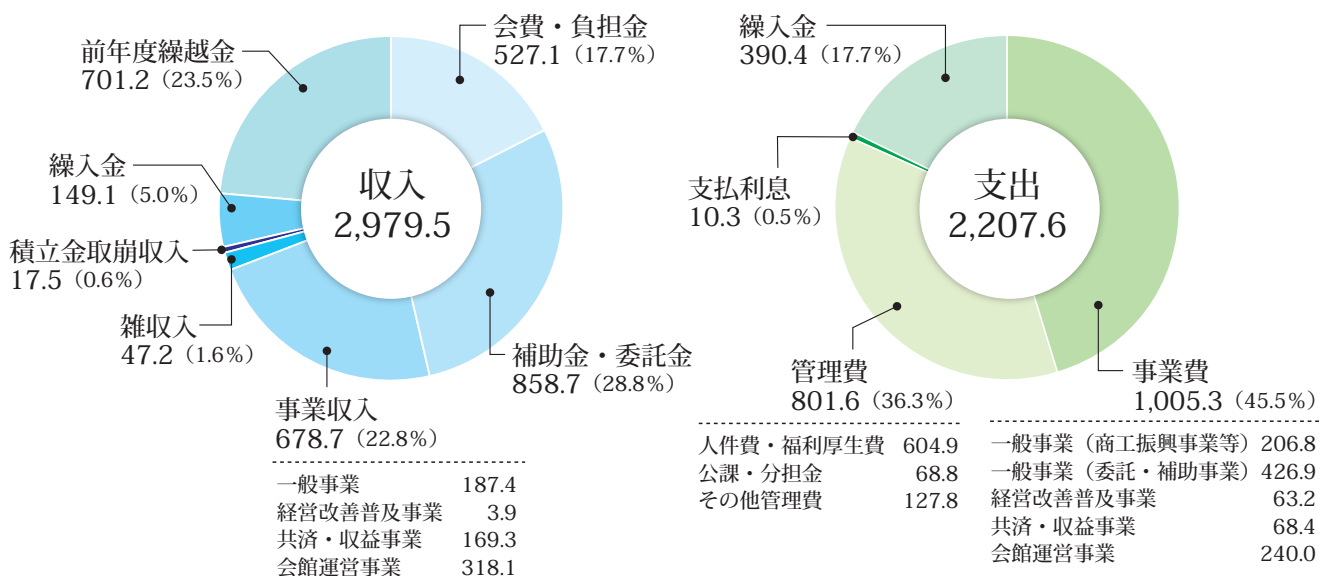
- 第1号議案 2022年度事業報告の件
- 第2号議案 2022年度収支決算の件
- 第3号議案 常議員の補充選任の件

議案終了後には、日本銀行神戸支店長の竜田博之氏を講師に迎え、「兵庫県経済の現状と今後の発展に向けて」をテーマに講演会を開催した。



### 2022年度 事業会計収支決算

(単位：百万円)



※特定退職金共済掛金保険料 (726.0百万円) および退職給付金 (933.4百万円) は除く。

※収支差額771.9百万円は次年度へ繰り越す。

※端数処理の関係上、各項目の金額と合計が一致しない場合や、構成割合の合計が100%にならない場合があります。

6.25

## 航空需要拡大に向けて関西一丸で取り組むことを合意

### 第13回 関西3空港懇談会

関西、大阪（伊丹）、神戸の3空港の役割を官民で協議する「関西3空港懇談会」（第13回）が開催され、川崎会頭が出席した。

懇談会では、コロナ禍によって大きく落ち込んだ関西国際線の需要回復と2025年大阪・関西万博への更なる成長を後押しする「関西成長支援プラン」がとりまとめられ、関西一丸となって取り組むことが確認された。

また、前回懇談会で合意された、関西の発着容量拡張、ならびに神戸空港の国際化と国内線発着枠拡大を実現する

ため、国による飛行経路の見直し案が示され、今後その内容について検証を進めていくこととなった。

川崎会頭は「経済界として、ビジネス需要拡大を通じて関西成長支援プランの取り組みに貢献していく。神戸空港の機能強化に向けても、神戸市以西の需要拡大に積極的に取り組む」と意気込みを語った。

当商工会議所では、関係機関と連携し、引き続き神戸空港の利用促進や機能強化・利便性向上を働きかけていく。



地域政策部

## 6.19 地元企業やスタートアップとの協業で行政課題の解決を目指す

### 神戸市役所の課題解決パートナー募集説明会

**3. 今回取り組みたい実証内容**

- 今後、益々人口減少や高齢化が進むと今の対策のみでは限界
- 市内で被害を及ぼしているイノシシ、アライグマ、ニホンジカ、カラスを対象に
- 農作物被害や生活環境被害を低減させる新たな鳥獣対策技術を募集！

例えば・・・

- 捕獲率を向上させる技術
- 侵入防止対策を強化できる技術
- 光や音などの刺激で追い払う技術

神戸市と民間企業が協働し、行政課題や社会課題の解決を目指すプログラム「Urban Innovation KOBE」の今年度のパートナー企業募集説明会を開催した。

今回は、神戸市から「若者の意見を集める仕組みづくり」「テクノロジーを活用した鳥獣被害問題の解決策」「利用者と民間搬送事業者のマッチングサービス」の3つの課題が説明された。本プログラムでは、地元企業やスタートアップより、サービスや技術を活用した提案を募集し、神戸市とともに実証実験などを通じて、課題解決に取り組んでいく。

産業部産業・国際チーム

## 6.26 輸出向け商品改良の重要性を学ぶ

### 海外販路開拓戦略セミナー



国際ビジネス委員会は、ワオラボ(株)の小粥おさ美氏を講師に迎え、海外販路開拓で取り組むポイントと、輸出商品における商品改良の重要性を聞いた。

小粥氏は「ベトナムは市場のアクセス（規制・物流）と日本食材の浸透度でアジアの中の有望市場と位置付けられている。経済成長を続ける一方、タイほど日本商品が浸透していないため商機がある」と語った。また、海外で売れるポイントとして「輸出国の市場をよく調査し、ニーズを汲み取った一工夫、改良を加えることが重要」と強調した。

産業部産業・国際チーム

## 兵庫県立兵庫津ミュージアム、NATURE STUDIOの魅力を感じ

### 賑わい創出委員会・集客交通観光部会視察会

賑わい創出委員会と集客交通観光部会は、兵庫区エリアの新たな集客・観光施設を巡る視察会を開催した。

まず、兵庫県発祥の地“兵庫津”に2021年11月にオープンした「兵庫津ミュージアム」を訪問。博物館施設「ひょうごはじまり館」と最初の県庁舎を復元した「初代県庁館」の2館が一体となった施設で、副館長 大畑博嗣氏の施設紹介の後、各施設の視察や、兵庫県発足に至る経緯をミュージカル風にアレンジしたショートムービーを鑑賞した。

次に、2022年7月にオープンした「NATURE STUDIO」

を訪問。141年の歴史を持つ旧湊山小学校をリノベーションしたコミュニティ型の複合商業施設で、水族館やフードホール、保育・就労支援施設などが入居している。視察とあわせて、運営者の(株)村上工務店社長の村上豪英氏より、オープンまでの道のりや集客状況、今後のビジョンについて説明を聞いた。

その後、フードホールで交流会を行い、施設内で醸造されているクラフトビールを楽しみながら活発な意見交換を行った。



地域政策部

## 準備すべき実務上の対応を解説

### インボイス制度対策セミナー



インボイス制度の概要と実務上の対応ポイントを学ぶため、税理士法人はやぶさの福岡裕次氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

福岡氏は、消費税の仕組みやインボイス制度の概要を説明した上で、課税事業者、免税事業者それぞれが準備すべき実務上の対策について解説した。

また、「免税事業者はできるだけ早く、自社がインボイス発行事業者となるのか否かを判断し、必要と判断される事業者は登録申請を行ってほしい」と強調した。

東神戸支部

## 入社後の振り返りでステップアップ

### 新入社員3か月フォローアップセミナー



ビジネスマナーや仕事の進め方を再確認し、成長意欲を高める思考法を学ぶため、(株)経営人事教育システムの華多真美氏を講師に迎えてセミナーを開催した。

華氏は柔軟で前向きな思考の重要性を説き、「将来が不確実な社会では、環境変化への迅速な対応力が不可欠。変化や失敗を恐れず、挑戦心を持ち続けてほしい」と強調した。

参加者からは、「研修仲間と悩みを共有して安心感が得られた。今後も仕事を通じて、自分を磨き続けたい」との声が聞かれた。

会員事業部人材開発チーム

7.24

## 「ChatGPT」のビジネス活用を考える

### 次世代産業委員会 DXセミナー

次世代産業委員会は、今、注目を集める生成AI「ChatGPT」のビジネス活用の可能性を模索するDXセミナーを開催し、約400名が参加した。

はじめに、神戸松蔭女子学院大学人間科学部専任講師の奥村紀之氏が、ChatGPTの概要やビジネス活用にあたっての問題点などについて解説。システムへの入力が解釈される仕組みを紹介し、「利用者の文章の書き方次第で効果的な回答が得られる」と語った。

続いて、(株)ハック取締役の岩崎雅也氏が、ChatGPTの

具体的な活用方法やポイントなどの実践ノウハウを説明。岩崎氏はChatGPTのデモ操作を行いながら「調べる」「加工する」「考える」「作る」「遊ぶ」などの使い方を披露し、「明確に詳細を入力し、回答に対してフィードバックを与えることで回答の精度は高まっていく」と指摘した。

また、「ChatGPTの回答はすべて中間成果物と捉えたほうがよい。使用する側には、内容に誤りがないことを確認できる知識と教養が必要になる」と強調した。



産業部産業・国際チーム

7.21

## 兵庫県・神戸市の公共事業施策を聞く

### 建設部会 公共事業説明会



建設部会は、兵庫県・神戸市の令和5年度予算と公共事業の概要について、説明会を開催した。

まず、兵庫県土木部次長の宇野文章氏が、防災・減災、国土強靱化のための社会基盤整備に関する取り組みをはじめとする主要施策を紹介した。

続いて、神戸市行財政局長の西尾秀樹氏が今年度予算のポイントと公共事業全般について、都市局副局長の松崎吉希氏が都心・三宮の再整備や拠点駅周辺のリノベーションなどの重点プロジェクトの計画・進捗状況について解説した。

地域政策部

## 「みなとまちだYO!!全員集合」 配信開始

### インターネットラジオを活用して地元経営者を紹介



地元の魅力ある事業所や経営者を紹介するため、インターネットラジオの配信を開始した。番組名は「みなとまちだYO!!全員集合」。放送は毎週金曜日お昼の12時30分～13時で、インターネットラジオ放送局RadiCroのホームページより配信される。

過去放送分は、アーカイブやPodcastで視聴可能。出演した事業所自らSNSなどで出演情報を発信し、自社の認知度を高めている。

本番組は令和6年2月末まで放送を予定している。

配信はこちら



中央支部